

令和 6 年 9 月 11 日現在

機関番号：33103

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K05802

研究課題名（和文）稲作を土台とした地域通貨による地域消費活動の変革を目指した社会実験

研究課題名（英文）A social experiment aimed at transforming local consumption activities by a local currency based on rice cultivation

研究代表者

阿部 雅明（Abe, Masaaki）

新潟産業大学・経済学部・教授

研究者番号：20319015

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、ボランティアによる米の生産を土台の一つとする地域通貨の流通活動を実施し、地域経済や地域コミュニティの活性化に寄与する流通システムの構築を目指すとともに、地域における消費行動の現状を調査している。また、地域通貨が地域経済に与える影響を教室内で体験し理解してもらうための、地域通貨ゲームの開発・改良を行なった。

地域通貨の流通については、コロナ禍の影響を受けながらも、研究期間の3年間、ボランティアによる米の生産と販売を実施し、地域通貨（風輪通貨）の配布と協力店からの回収を実施し、流通システムの課題点を明確化できた。また、地域通貨ゲームを開発し、市民・学生に体験してもらうことができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年、地域経済の活性化を目的とした地域通貨の導入は、その電子決済化の波も相まって、再び活発化している。飛騨、高山地域の「さるぼほコイン」など大きな成功を納める地域がある一方、地域通貨流通活動そのものが持続できない地域も多数出ている。地域通貨流通活動による地域活性化が成功するための条件の明確化は非常に重要である。

本研究を通じて明確化された地域通貨流通活動成功のための条件の一つは、地域通貨流通が地域経済に与えるプラスの影響を分かりやすく住民に伝えることである。体験的に地域通貨の効果を理解してもらうための地域通貨ゲームの開発はこの課題解決の上でも非常に大きな成果であると考えている。

研究成果の概要（英文）：In this study, we implemented a local currency distribution activity based on rice production by volunteers, aiming to build a distribution system that contributes to the revitalization of the local economy and community, while also investigating the current state of consumption behavior in the region. We also developed and improved a local currency game to allow students to experience and understand the impact of local currency on the local economy in the classroom.

Regarding the distribution of local currency, despite being affected by the COVID-19 pandemic, volunteers produced and sold rice over the three-year research period, distributed local currency ("Furin" currency) and collected it from cooperating stores, and were able to clarify the issues with the distribution system. We also developed a local currency game, which we were able to allow residents and students to experience.

研究分野：環境経済学

キーワード：地域通貨 地域通貨ゲーム 囚人のジレンマ 地域経済 食料問題 ボランティア活動 持続可能な社会

1. 研究開始当初の背景

地球温暖化をはじめとする地球環境問題に対しては国際的に様々な取り組みがなされ、日本の食料安全保障問題についても、日本国政府を中心に様々な取り組みが長期間なされて来たにも関わらず、残念ながら今までのところ改善の兆しは見られない。

なぜ、これだけ多方面での社会的努力が身を結ばず、状況は改善の兆しを見せないのか。その原因はグローバル経済システムにある。経済のグローバル化は、大量生産・大量輸送による生産性の向上や市場規模の飛躍的な拡大によって、世界的経済成長のけん引役とされてきた。しかし一方で、大量生産・大量輸送は、エネルギーの大量消費を伴い、地球環境問題の悪化の主要原因となっている。

さらに、経済のグローバル化は、地域間・個人間の貧富の格差を急速に拡大させており、社会の持続可能性そのものを脅かしている。行き過ぎた経済のグローバル化の流れを是正し、地域経済の再構築に寄与する仕組みづくりや地域活動の必要性が世界的に高まっている。

2. 研究の目的

本研究は、ボランティアによる稲作を価値の土台とする地域通貨流通の社会実験を通じて、その効果として期待される「地産地消」の推進による、地域経済の活性化、地域コミュニティの再生、農業の活性化、環境保全、などの効果を検証し、持続可能な地方都市の経済システム構築に寄与する地域通貨流通制度を設計することを目的としている。

農業も含めた地域経済衰退の主要原因は消費者の合理的消費行動(安い商品を求めた地域外からの購入)による「ヒト・モノ・カネ」の地域外流出である。これは地域消費行動における「囚人のジレンマ」的状况といえる。

本研究においては、地域消費行動における囚人のジレンマから抜け出し、持続可能な地域社会を実現するために、特に食料安全保障の観点から、地域農業の再生に重点を置いた地域通貨流通システムの構築を目指す。

そこで、これまでの研究から得られた課題をもとに本研究では以下を明らかにすることを目的とする。

地域通貨を利用した地産地消の推進による地域農家の所得増加の仕組み

米農家では米価の低迷などによる所得低下が深刻である。「地域通貨を利用した農家と消費者の直販ルートの構築」を通じた所得の向上と安定化を目指す。

農業生産を利用した地域通貨流通のための財源確保の仕組み

持続的な地域通貨流通には、補助金など外部資金に頼らない財源確保が必要であり、地域通貨を利用した農産物販売の収益の一部を財源とする流通システムの構築を目指す。

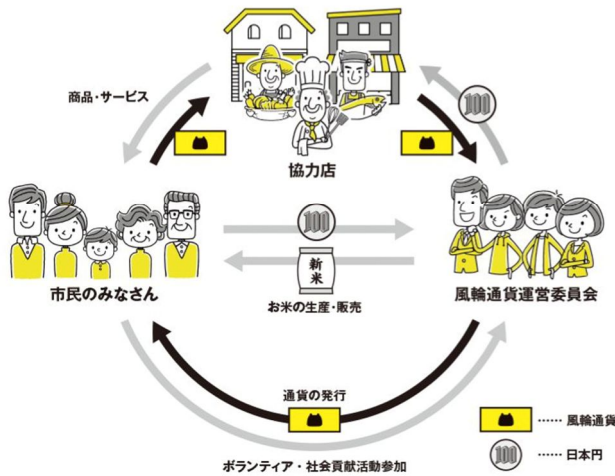
地域通貨発行量の増加による地域商店の活性化および農業振興への効果

効果検証のため科研費補助金も利用しながら通貨流通量を拡大させ、協力店や農家、そして市民アンケートを通じて、効果を検証し、流通システムの改善を図る。

3. 研究の方法

風輪通貨の流通の仕組み

風輪通貨の流通が、環境保全、地元商店の活性化に繋がります。



左図は、本研究で流通させる地域通貨(風輪通貨)の流通システムを示すものである。流通システムは一般的な地域通貨同様、ボランティア参加者に1時間につき1枚(100円相当)の風輪通貨が配布され、地元協力店での使用を通じて、地域活性化を目指すものである。この通貨の特徴は、通貨の価値の土台をボランティアが生産するお米においており、農業の活性化も目指している点にある。

以上の流通システムを持つ地域通貨(「風輪通貨」)を研究期間中、毎年発行し、実際に新潟県柏崎市で流通させる。この流通活動を通じて、地域通貨流通活動の問題点や課題点の明確化を目指すとともに、市民へのアンケート調査も実施して、地域における消費行動の実態調査も行う。また、教室内で実験的に地域経済に与える地域通貨導入の影響を体験できる「地域通貨ゲーム」を開発し、市民に体験してもらうことで地域通貨の意義の理解と利用の促進を目指す。

4. 研究成果

本研究は、地域消費行動における囚人のジレンマ(価格や利便性の利点から、多くの地域住民が、地域消費よりもネット消費を選択することによって、地域経済そのものが衰退すること)から抜け出し、地域社会におけるパレート最適を達成するため、特に地域農業の再生に重点を置いた地域通貨流通システムの構築を目指している。そのため、2021年から2023年度まで地域農家の協力のもとボランティア学生による手植え・無農薬でのお米作りを実施した。収穫されたお米の販売収益は、本研究で発行している地域通貨「風輪通貨」の流通活動資金として使用した。

以上を通して、農業収益で地域通貨を流通させ地産地消を推進する社会システムづくりに関する検証を行った。大学生を対象にしたアンケート調査によると、ボランティア活動への報酬の考えでは24.2%の人が必要と回答し、ボランティア活動に対して報酬を受け取る場合の種類では、現金が16.2%、商品券・金券が18.4%、地域通貨が15.1%という結果であり、これらを合計すると49.7%となり約半数の人が決済のための価値交換媒体が適当だと思っているという結果であった。これらのことから地域通貨を使用することの可能性や有用性を確認することができた。現段階までに、地域活性化に貢献するボランティア活動に対して地域通貨を配布して、ボランティア参加者が地域通貨を地域の協力店で使用し、地域通貨運営委員会が地域通貨使用期限終了後に、協力店で使用された地域通貨を現金と交換し、お店から回収するという基本的枠組みはできている。しかし、流通規模が小規模なため、地域経済活性化の効果の検証ができる段階にまでは到達していない。そこで、本研究では地域通貨が地域経済に与える効果を教室内で体験できる地域通貨ゲームを、様々なグループで実施して、その効果の検証とともに、参加者への啓蒙活動も行なっている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Masaaki Abe	4. 巻 1
2. 論文標題 Trade, Capital Accumulation, and Wage Differentials: A Dynamic Model of the Comparative Advantage Theory	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 New Frontiers of Policy Evaluation in Regional Science	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/978-981-16-4501-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 平野実良	4. 巻 60
2. 論文標題 市民意識と地域通貨の課題：2017～2019年実施「柏崎市活性化を目指す地域通貨流通のための市民意識・消費動向調査」より	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新潟産業大学経済学部紀要 https://nsu.repo.nii.ac.jp/records/349	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 平野実良	4. 巻 62
2. 論文標題 ボランティアと地域通貨：柏崎市活性化を目指す地域通貨流通のための市民意識・消費動向調査より	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 新潟産業大学経済学部紀要 https://nsu.repo.nii.ac.jp/records/357	6. 最初と最後の頁 27-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 阿部雅明	4. 巻 59
2. 論文標題 消費者行動と地域経済の関係検証を目的とする地域通貨ゲーム：地域通貨ゲーム「ネット通販.com（カード）」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 新潟産業大学経済学部紀要 https://nsu.repo.nii.ac.jp/records/345	6. 最初と最後の頁 17-27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 宇都宮仁
2. 発表標題 プレミアム付商品券の地域コミュニティ活性化効果：地域通貨ゲームを用いた考察
3. 学会等名 日本地域学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 阿部雅明
2. 発表標題 地域内消費における囚人のジレンマに対する地域コミュニティの役割 地域通貨ゲームを利用した繰り返しゲームによる検証
3. 学会等名 日本地域学会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

風輪通貨流通活動紹介ページ https://www.nsu.ac.jp/furing/ YouTubeサービスを利用した風輪通貨流通活動紹介動画 https://www.youtube.com/channel/UCePueMFMqbw4FMnqw8a3XQ

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	平野 実良 (Hirano Miyosi) (10434458)	新潟産業大学・経済学部・講師 (33103)	ボランティア運営管理、アンケート調査実施

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	黒岩 直 (Kuroiwa Naoki) (20785224)	新潟産業大学・経済学部・講師 (33103)	地域通貨発行、流通管理
研究分担者	宇都宮 仁 (Utsunomiya Hitosi) (60711091)	大正大学・地域創生学部・准教授 (32635)	地域通貨ゲームの実施、研究会の開催

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関